

平成 29 年度  
事業計画書

平成29年 4月～平成30年 3月

目 次

1. 平成 28 年度 法 人 事 業 概 況
2. 平成 29 年度 法 人 事 業 計 画
  - (1) 事 業 運 営 方 針 ( 理 事 長 方 針 )
  - (2) 法 人 単 位 予 算 概 要
  - (3) 職 員 配 置 ・ 業 務 分 担
  - (4) 会 議
  - (5) 委 員 会
  - (6) 年 間 行 事
  - (7) 研 修
  - (8) そ の 他

社会福祉法人 鶴 林 園

# 1. 平成28年度法人事業概要

平成28年度は、各事業所の位置づけを確認しながら、事業所間の連携を意識した年度であった。特に在宅部門は人的資源において、兼務による効率化が最大限に活かされ、さらに社会福祉法改正にかかる「地域における公益的な取組み」においては、各事業所の特徴を活かした議論・検討がされた。

各事業所の推進状況については、別に記載する事業所ごとの「平成29年度 事業計画書」を参照されたい。

## 【平成28年度事業運営方針(理事長方針)】

### 1. 各事業所の位置づけ

- (1)社会福祉法人鶴林園グループの一員。
- (2)グループの一員として、鶴林園の理念、信条、考え方、目標を重んじる。

### 2. 各事業所の自主性

- (1)各事業所は、基本的には、独立した経営体である。
- (2)各事業所は、自主的な経営体としての認識、活動が要求される。
- (3)各事業所には、10大管理業務の実行が要求される。

### 3. 各事業所間の連携

- (1)各事業所は、鶴林園グループの一員としての良好な連携活動が要求される。
- (2)法人内で、集約すべきものは一本化し、ムダを排除した合理的な経営を推進する。

事業における業績については、第1次補正予算と比較して収支の改善が見込まれた。収入面では利用者減少により、減収が見込まれるものの、支出面で利用者減少に比例して食事提供量が減少し、支出が抑えられる見通しとなる。

また、人件費については、職員の産休等により減少する見込みとなった。介護職員の人材不足が社会問題化しているが、鶴林園においても職員の補充に支障が出始めている。今後は人件費減少に留まらず、収入減少にも影響する可能性があるため、人材不足解消策は死活問題として取り組みたい。

支出面ではさらに、新電力への切り替えと、本館照明器具のLED化による水道光熱費の抑制が収支改善に貢献した。

(単位:千円)

科目	平成 28 年度 当初予算	平成 28 年度 一次補正予算	平成 28 年度 決算予想
事業活動収入	1,090,450	1,078,190	1,075,100
事業活動支出	1,028,190	1,020,380	1,013,800
事業活動資金収支差額	62,260	57,810	61,300
修繕積立資産支出	15,000	20,000	27,000
当期資金収支差額	2,810	390	2,080
当期末支払資金残高	386,070	384,129	385,819

## 2. 平成29年度法人事業計画

### (1) 事業運営方針(理事長方針)

鶴林園創立50周年という大きな節目の時までいよいよあと1年となった。昨年の改正社会福祉法に基づく社会福祉法人の制度改革、来年度には介護報酬の改定など、事業環境は大きな変化に直面している。

このような変革期を、園是・サーン(職員信条)のもと、総力を結集して乗り越え、ご利用者に信頼されるサービスを提供し続けてきたのが鶴林園の伝統であり、強味である。

本年度は、次の事項を基本方針とし、これを各事業所において具体的な目標に展開、全職員が強い信念とチャレンジ精神で取り組み、50周年をさらに充実した姿で迎えることとしたい。

#### 1. すべての事業・業務につき、ゼロベースから再構築する。

- ・それぞれの事業や業務は、何のためにあるのか、そこでは何をしなければならぬのか、PDCAにより実行する。

#### 2. すべての職員が初心にかえり、全員でご利用者の幸福を追求する。

- ・ご利用者の幸福と自分の幸福に焦点を当て、共に生きていくことの素晴らしさを創造する。

#### 3. 自助、互助、共助、公助による職員育成を行う。

- ・法人として、各事業所としての職員育成を徹底して行う。

以上に基いて、各事業所は「平成 29 年度 事業計画書」を立案した。  
別に記載した事業所ごとの事業計画をご審議頂きたい。

## (2) 法人単位予算概要

平成29年度は、今後益々厳しくなる事業環境を乗り越え、安定した法人運営で創立50周年を迎えられるよう、より一層の事業効率化と組織強化に努め、積極的にサービスの充実・利用者拡大に取り組む。

また、介護職員確保対策については今まで以上に注力し、法人の総力戦として取り組む。

(単位:千円)

科目	平成28年度決算予想	平成29年度計画
事業活動収入	1,075,100	1,073,130
事業活動支出	1,013,800	1,019,990
事業活動資金収支差額	61,300	53,140
当期資金収支差額	2,080	370
当期末支払資金残高	385,819	386,189

## (3) 職員配置・業務分担

法人における経営および事業遂行については、以下別紙による。

- ①社会福祉法人 鶴林園 経営管理組織図(案)(別添1)
- ②社会福祉法人 鶴林園 事業組織図(案)(別添2)

## (4) 会議

法人における会議は、経営に関わる重要な審議の場と位置付け、次にあげるものとする。

会議名	開催時期	出席者
理事会・評議員会	6月、11月、3月、 及び必要の都度	理事、評議員、監事、事務局
経営会議	毎月第4水曜日	理事長、統括施設長、顧問、事務局長、 各事業所責任者、部長、次長
理事長定例報告会	毎月第3木曜日	理事長、統括施設長、各事業所責任者
合同職員会議	5月、11月第3日曜日	全職員
第三者委員会	必要の都度	理事長、統括施設長、第三者委員、事務局長

## (5) 委員会

法人全体の委員会活動は、次にあげるものとする。

委員会名	開催時期	出席者
安全衛生委員会	毎月	統括施設長、産業医、衛生管理者、事業者委員、労働者委員
防災委員会	偶数月	理事長、統括施設長、防火管理者、各事業所委員
車輛委員会	奇数月	理事長、安全運転管理者(正・副)、各事業所委員
広報委員会	毎月2回	統括施設長、各事業所委員

## (6) 年間行事

法人全体の行事計画については次の別紙を参照されたい。

- ①「平成 29 年度 年間行事スケジュール」(別添3)

## (7) 研修

職員の育成は法人に課せられた重要な使命であると認識し、次にあげる研修を法人全体の取り組みとして実施する。

研修名	開催月	研修内容
新入職員研修	4 月	新入職員に対する入社時研修
弁護士による事例勉強会 (主任・副主任研修向け)	概ね毎月	主任・副主任に対する教育指導研修
新入職員 フォローアップ研修	別途立案	入社後の職員に対するフォローアップ研修
理事長職員研修	毎月第 3 水曜日	職員に対する理事長を講師とした教育研修

## (8) その他

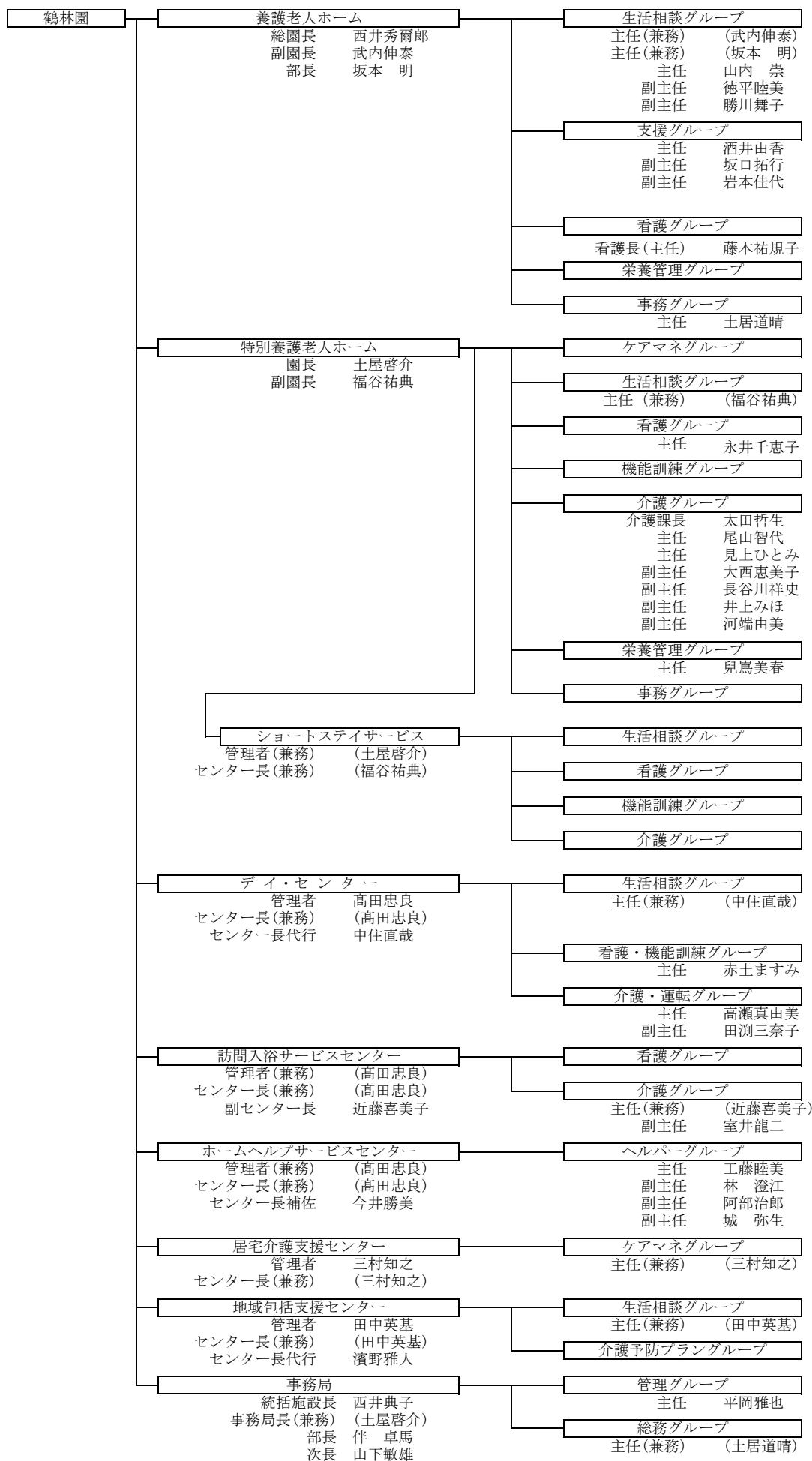
利用者満足度の向上と、サービスの品質向上のため、次の苦情解決体制で対応する。

- ①鶴林園苦情解決体制(案)(別添4)

# 社会福祉法人 鶴林園 経営管理組織図



### 社会福祉法人鶴林園 事業組織図



【平成29年4月1日】

## 平成29年度 年間行事スケジュール

項目 月度	行	事
4月	入社式	4月3日(月)
	新人職員研修	4月3日(月)～4月5日(水)
	創立記念日	4月18日(火)
	職員のとどい	4月18日(火)
5月	前年度書類整理点検(文書保管)	5月2日(火)
	各事業所業務自主点検	5月2日～5月9日
	事業報告書・決算報告書	5月19日(金)
	合同職員会議	5月21日(日)
	法人監事監査	5月22日(月)～5月26日(金)
	県・市指導監査受入準備完了	5月末
6月	加古川フィルハーモニー演奏会	6月4日(日)
	(現)理事会 事業報告	6月6日(火)
	(新)評議員会 事業報告他	6月20日(火)
	(新)理事会 役職審議	6月20日(火)
	法人資産登記	6月27日(火)
	県・市指導監査開始	県指定日
	現況報告書提出	〃
	監査事前資料提出	〃
	県集団指導	〃
8月	盆踊り	8月10日(木)
9月	敬老会	9月15日(金)
10月	内部監査(監事監査フォローアップ <sup>o</sup> )	10月中旬3日間
11月	合同職員会議	11月19日(日)
	第1次補正予算(案)	11月上旬
	理事会 補正予算	11月21日(火)
	評議員会 補正予算	11月28日(火)
1月	新年祝賀会	1月1日(月)
	新年度理事長方針示達	1月5日(金)
	新年度事業計画立案	1月31日(水)
2月	第2次補正予算(案)	2月上旬
3月	新年度予算(案)	3月7日(水)
	理事会 予算(案)、事業計画(案)	3月22日(木)
	評議員会 予算(案)、事業計画(案)	3月29日(木)
	鶴林祭	3月25日(日)



平成29年4月1日

## 鶴林園苦情解決体制

事業所名 (施設長・管理者)	苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員
養護老人ホーム 施設長 西井 秀爾郎	養護老人ホーム 副園長 武内 伸泰	部長 坂本 明	平野 雄幸 (元関西医科大学 渉外部長)  柳原 正美 (柳原経営労務研究所 所長)
特別養護老人ホーム 施設長 土屋 啓介		副園長 福谷 祐典	
ショートステイサービス 管理者 土屋 啓介		センター長 福谷 祐典	
デイ・センター 管理者 高田 忠良		センター長 高田 忠良	
訪問入浴サービスセンター 管理者 高田 忠良		副センター長 近藤 喜美子	
ホームヘルプサービスセンター 管理者 高田 忠良		センター長 高田 忠良	
居宅介護支援センター 管理者 三村 知之		センター長 三村 知之	
地域包括支援センターかこがわ西 管理者 田中 英基		センター長 田中 英基	